



HIKVISION

DS-6700HQHI-SATA エンコーダー

クイックスタートガイド

Made in China

UD.6L0202B2169A0

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等を禁ず。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示的にせよ黙示的にせよ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

このマニュアルは DS-6700HQHI-SATA シリーズエンコーダーに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。当社ウェブサイトでも最新版を参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、国や地域に関係なく Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示、黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス A デジタル機器です。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って取り付けおよび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を容認しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 基準要件を満たしています。



安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告: この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

注意: この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 100～240 VAC、48 VDC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

予防および注意に関するヒント

デバイスを接続して操作する前に、以下のヒントをご確認ください。

- ユニットが風通しのよい、ほこりのない環境に設置されていることをご確認ください。
- ユニットは屋内専用に設計されています。
- 液体の近くで本機を使用しないでください。
- 環境条件が工場仕様を満たしていることをご確認ください。
- ユニットがラックや棚に適切に固定されていることをご確認ください。落下によるユニットへの主な衝撃や振動は、内部の繊細な電子機器に損害を与える可能性があります。
- できれば無停電電源装置（UPS）と併用してください。
- ユニットの電源を切ってから、周辺機器の接続や切断を行ってください。
- 工場推奨のHDDを本デバイスに使用してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。

目次

第 1 章	パネル概要	7
1.1	フロントパネル.....	7
1.2	背面パネル.....	7
第 2 章	取り付け	9
2.1	インストールの前に.....	9
2.2	取り付け.....	9
2.3	ハードディスクの装着.....	9
第 3 章	エンコーダー用ネットワーク設定のアクティベーションと初期化	11
3.1	Web ブラウザを経由の管理者パスワード設定.....	11
3.2	クライアントソフトウェア経由の管理者パスワードの設定とネットワークパラメータの変更.....	12
第 4 章	Web ブラウザ経由での DS-6700HQHI-SATA へのアクセス	15
4.1	ライブビューの開始.....	16
4.2	PTZ 操作の実行.....	17
4.3	録画中.....	18
4.4	再生.....	19
4.5	ログ.....	22

第1章 パネル概要

1.1 フロントパネル

DS-6708HQHI-SATA/DS-6716HQHI-SATA:

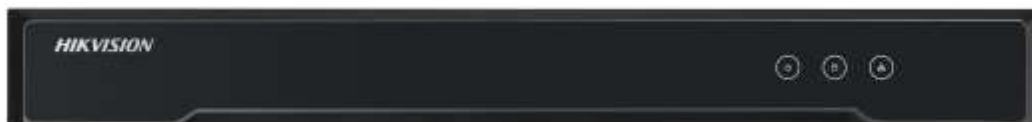


図 1.1 DS-6708HQHI-SATA/DS-6716HQHI-SATA フロントパネル

表 1.1 インジケータの説明

	インジケータ	説明
1	電源	デバイスの電源がオンの時は緑色で点灯します。
2	状態	データが HDD から読み込まれている、または HDD に書き込まれている時には緑色で点灯します。
3	Tx/Rx	<ol style="list-style-type: none"> ネットワークが接続されていない時は点灯しません。 データ送信/受信中には緑色に点滅します。 送信/受信のデータが大きい場合、速く点滅します。

1.2 背面パネル

DS-6708HQHI-SATA:

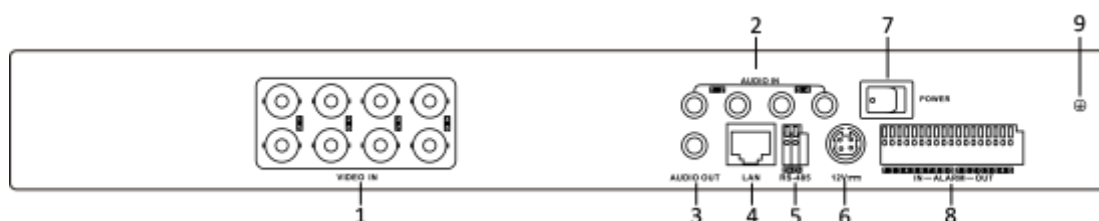


図 1.2 DS-6708HQHI-SATA 背面パネル

DS-6716HQHI-SATA:

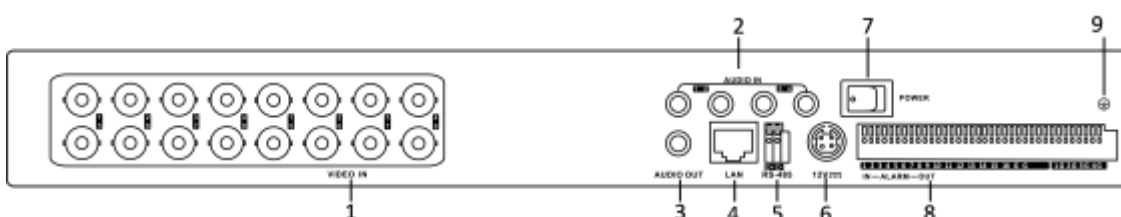


図 1.3 DS-6716HQHI-SATA

表 1.2 インターフェイス概要

	説明
1	ビデオ入力
2	音声入力、RCA コネクタ
3	音声出力、RCA コネクタ
4	LAN ネットワークインターフェイス
5	RS-485 シリアルインターフェイス
6	12 VDC 電源入力
7	電源スイッチ
8	アラーム入力およびアラーム出力
9	アース

第2章 取り付け

2.1 インストールの前に

DS-6700HQHI-SATAシリーズエンコーダーは高度な監視装置であり、注意深く設置する必要があります。エンコーダーの設置の前に、以下の予防措置を講じてください。

1. エンコーダーに液体を近づけないでください。
2. エンコーダーは換気がよく、ホコリのない場所に設置してください。
3. 環境条件が工場仕様を満たしていることをご確認ください。
4. 製造元が推奨するHDDを設置してください。

2.2 取り付け

エンコーダーの取り付け中には:

1. ラックマウントには取付金具を使用します。
2. 音声およびビデオケーブルに対し十分な空間の余裕があることを確認します。
3. ケーブルの配線時には、ケーブルの曲げ半径が線径の5倍未満にならないように注意してください。
4. アラームとRS-485ケーブルを接続します。
5. ラックマウントデバイスの間隔は最低2cm(≈0.75インチ)空けるようにしてください。
6. エンコーダーを確実にアースにつないでください。
7. 環境温度は-10°C ~ 55°C (14°F ~ 131°F) の範囲にします。
8. 環境湿度は10% ~ 90%の範囲にします。

2.3 ハードディスクの装着

設置の前に

デバイスは工場出荷時にはハードディスクは装着されていません。以下の手順にしたがってスケジュール録画設定で計算した総容量を有するハードディスクを装着してください。ハードディスクの着脱は専門の資格を持った技術者が実施するようにしてください。ハードディスクドライブを装着する前に、デバイスの電源が切っていることを確認してください。この設置手順では工場推奨HDDを使用してください。

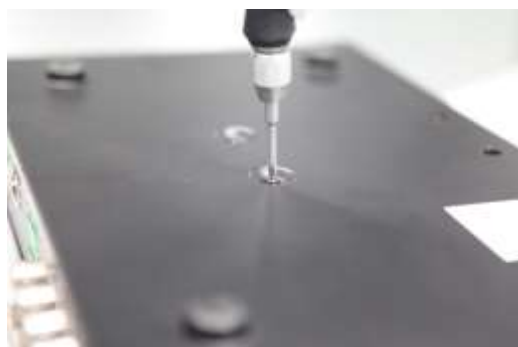
必要な工具: ドライバー

手順:

1. ドライバーを使ってデバイスの両側面とリアパネルのネジを外し、カバーをシャーシから取り外します。



2. HDDをシャーシのスロットに設置し、シャーシの底面のネジを用いて所定の位置にしっかりと固定します。



3. HDDのデータケーブルをアクセサリボックスから取り出します。データケーブルの一方の端を回路基板に、もう一方をHDDのデータラインポートに接続します。HDDの電源コードも同じように接続します。



4. カバーを再設置し、デバイス両側面およびリアパネルのネジを締めます。

第3章 エンコーダー用ネットワーク設定の アクティベーションと初期化

3.1 Web ブラウザを経由の管理者パスワード設定

手順:

1. エンコーダーの電源を入れ、エンコーダーをネットワークに接続します。
2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[エンター]キーを押してアクティベーションインターフェイスに入ります。



ネットワークエンコーダーのデフォルト IP アドレスは 192.0.0.64 です。アクセスした後、デフォルトの IP アドレスを変更するよう推奨します。

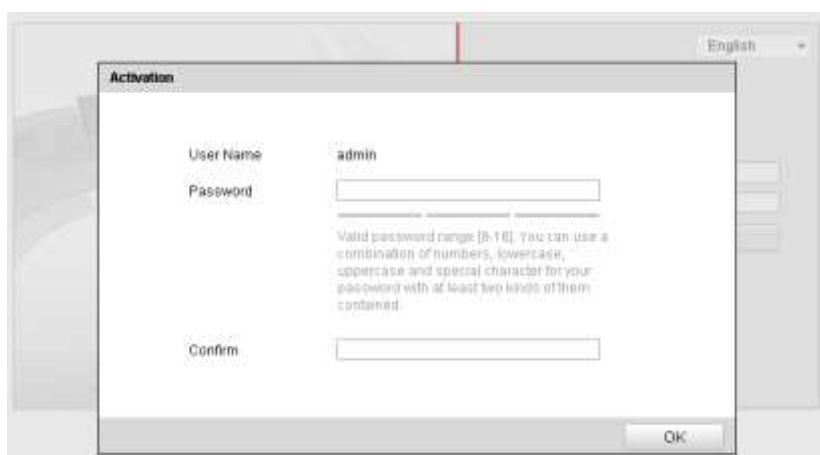



図 3.1 アクティベーションインターフェイス

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。

 **強力なパスワードの推奨** お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自分で選択した強力なパスワード（最低 8-16 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成するよう強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定すると、特に高いセキュリティが求められるシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、製品をより安全に保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

3.2 クライアントソフトウェア経由の管理者パスワードの設定とネットワークパラメータの変更

クライアントソフトウェアは複数のタイプのデバイスに対応した多用途のビデオマネジメントソフトウェアです。

クライアントソフトウェアを付属のディスクまたは公式のウェブサイトから入手し、プロンプトにしたがってソフトウェアをインストールします。ステップにしたがい、カメラをアクティベートします。

手順:

1. クライアントソフトウェアを実行すると、下図のようにソフトウェアのコントロールパネルが表示されます。



図 3.2 メインインターフェイス

2. [デバイスマネジメント] をクリックし、下図のようにデバイスマネジメントインターフェイスに進みます。

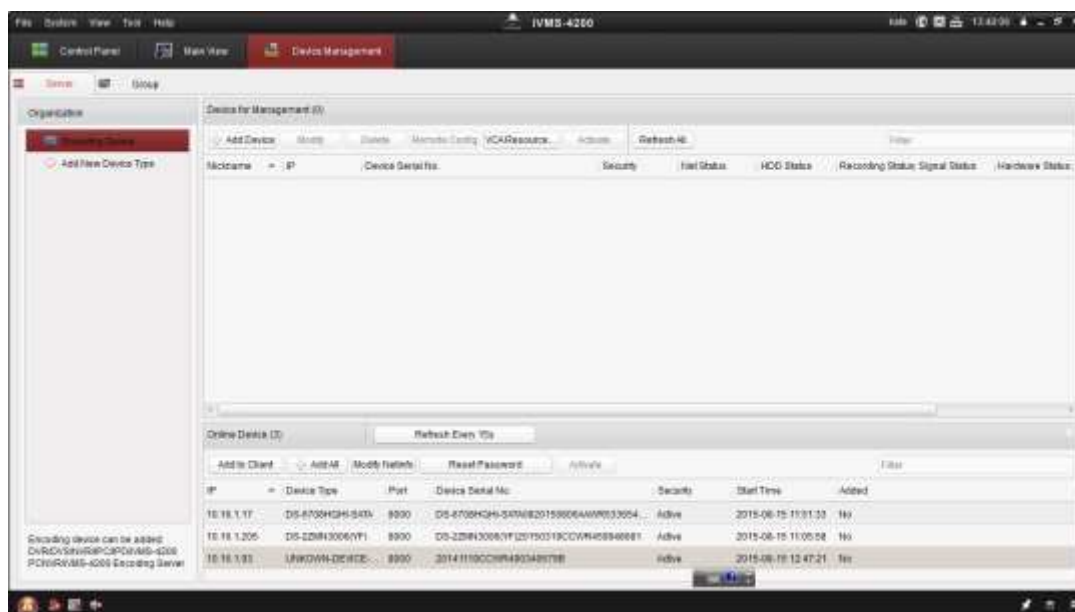


図 3.3 デバイス管理

3. デバイス リストからデバイス ステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。
4. [アクティベート] ボタンをクリックすると、アクティベーションインターフェイスが表示されます。
5. パスワードフィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワードの推奨— お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自分で選択した強力なパスワード（最低 8-16 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成するよう強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定すると、特に高いセキュリティが求められるシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、製品をより安全に保護できます。

Activation

User Name: admin

Password: [masked]

Strong

Valid password range [8-16]. You can use a combination of numbers, lowercase, uppercase and special character for your password with at least two kinds of them contained.

Confirm New Password: [masked]

Ok Cancel

図 3.4 アクティベーションインターフェイス

6. [OK] ボタンをクリックし、アクティベーションを開始します。
7. [ネットワーク情報を変更] ボタンをクリックすると、下図のようにネットワークパラメータ変更インターフェイスが表示されます。

Modify Network Parameter

Device Information:

MAC Address: XX-XX-XX-XX-XX-XX Copy

Software Version: Vx.x.xbuild xxxxxx Copy

Device Serial No.: XX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX Copy

Network Information:

DHCP

Port: 8000

IPv4(Enable)

IP address: 192.168.1.64

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.1.64

IPv6(Disable)

Password: [masked]

OK Cancel

図 3.5 ネットワークパラメータを変更

8. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピューターと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する] のチェックボックスをチェックしてください。
9. パスワードを入力し、IP アドレスの変更を有効化してください。

第4章 Web ブラウザ経由での DS-6700HQHI-SATA へのアクセス

DS-6700HQHI-SATAはWebブラウザ経由でアクセスし、設定や操作を行うことができます。サポートされているWebブラウザには以下が含まれます:Internet Explorer 6/7/8/9 またはそれ以降、Firefox 3.5 またはそれ以降、Chrome 8 またはそれ以降、Safari 5.0.2 またはそれ以降。

PC 上で Web ブラウザを開き、DS-6700HQHI-SATA の IP アドレス(例 : <http://192.0.0.64>)を入力して[Enter]キーを押します。ログインインターフェイスが表示されます。



HTTPS 機能が有効化されている場合、システムはデフォルトで HTTPS ログインモード(例 : <https://192.0.0.64>)を使用します。または、HTTP モードを利用してデバイスにログインしたい場合、<http://IP address/index.asp> (例 : <http://192.0.0.64/index.asp>)と入力することもできます。



図 4.1 ログインインターフェイス

ユーザ名とパスワードを入力してシステムにログインしてください。



ログインダイアログボックスで管理者ユーザのパスワードを7回、あるいは一般ユーザのパスワードを5回間違えた場合、そのユーザアカウントは60秒間ロックされます。



最初に使用する前にプラグインをダウンロードしてインストールしてください。

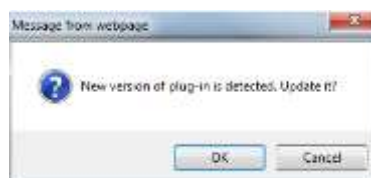



図 4.2 Web ページからのメッセージ

4.1 ライブビューの開始

1. ライブビューウィンドウで、マウスをクリックして再生ウィンドウを選択します。
2. デバイスリストからカメラをダブルクリックしてライブビューを開始します。



図 4.3 ライブビューインターフェイス

3. ツールバーの  ボタンをクリックすると、デバイスリストの全カメラのライブビューを開始できます。

ライブビューウィンドウにあるボタンの説明については以下の表を参照してください。

アイコン	説明
	分割ウィンドウモード選択
	ライブビュー開始/停止
	ライブビューモードで画像キャプチャ
	手動録画開始/停止
	e-PTZ 有効化
	前ページ
	次ページ
	音声 ON/OFF
	双方向音声開始/停止
	全画面ライブビューモード切り替え。



双方向音声機能または音声付き録画を利用する前に、[リモート設定] > [カメラ設定] > [ビデオ設定]にある[ビデオ種別]でビデオ & 音声 を選択してください。

4.2 PTZ 操作の実行

始める前に:

1. エンコーダーがPTZ機能をサポートしているカメラ/ドームに接続されていることを確認してください。パン/チルトユニットまたはスピードドームの R+ と R-端子を DS-6700HQHI-SATA の RS-485 T+ および RS-485 T- 端子にそれぞれ正しく接続してください。
2. RS-485 設定インターフェイス([リモート設定] > [シリアルポート設定] > [485 シリアルポート])で設定したボーレート、PTZ 操作およびアドレスは、接続されたパン/チルトユニットまたはスピードドームのパラメータと同一でなければなりません。

PTZ 操作の実行

ライブビューモードでは PTZ 操作ボタンを使ってカメラレンズのパン/チルト/ズーム操作ができます。マウスの相対的な位置に応じてディスプレイウィンドウ上に 8 方向のボタン(上、下、左、右、左上、右上、左下、右下)が現れます。

方向ボタンをクリックしてパン/チルトの動きを操作してください。



図 4.4 PTZ

[ズーム]/[アイリス]/[フォーカス] ボタンをクリックしてレンズ操作を実行します。

PTZ操作ボタンの説明は、下表を参照してください。

表 4.1 ボタン説明

ボタン	説明
	ズームイン/アウト
	近く/遠くにフォーカス
	絞り開く/閉じる
	照明オン/オフ
	ワイパーオン/オフ
	パン/チルト動作のスピード調整 (レベル 1 から 7 までが選択可能です)

4.3 録画中

始める前に

初めて使用する際には、エンコーダーがHDD(DS-6700HQHI-SATAの場合)またはネットワークディスクに接続され、HDDまたはネットワークディスクが初期化されていることを確認してください。

2 つの録画種別を設定できます：マニュアルとスケジュール。以下のセクションでは、スケジュール録画の設定について説明いたします。

手順:

1. [リモート設定]>[カメラ設定]>[スケジュール設定] をクリックし、録画スケジュール設定インターフェイスに進みます。
2. 録画スケジュールを設定するカメラを選択します。
3. [録画スケジュールを有効化]チェックボックスをチェックして録画スケジュールを有効化します。

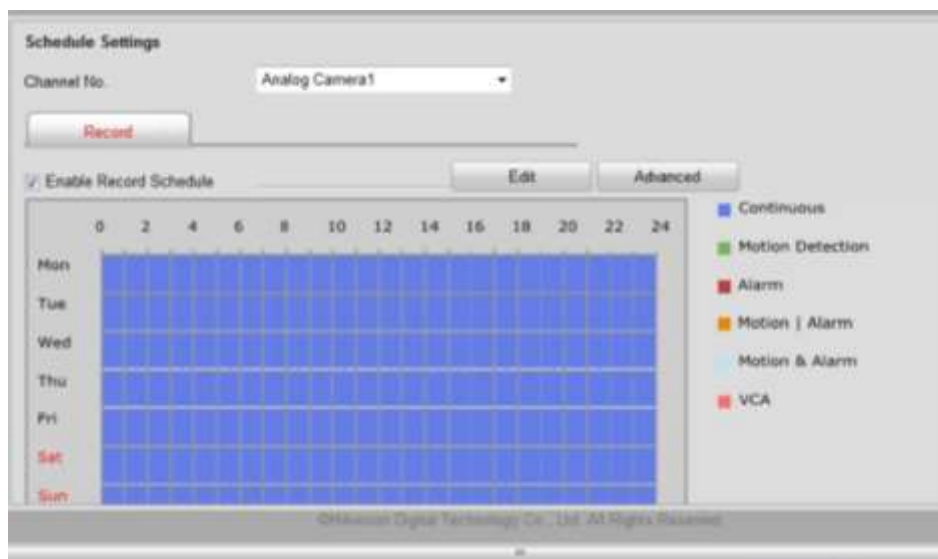


図 4.5 スケジュール設定インターフェイス

4. [編集]をクリックしてスケジュール編集インターフェイスに進みます。
5. いずれかの曜日を選択してスケジュール録画を設定します。

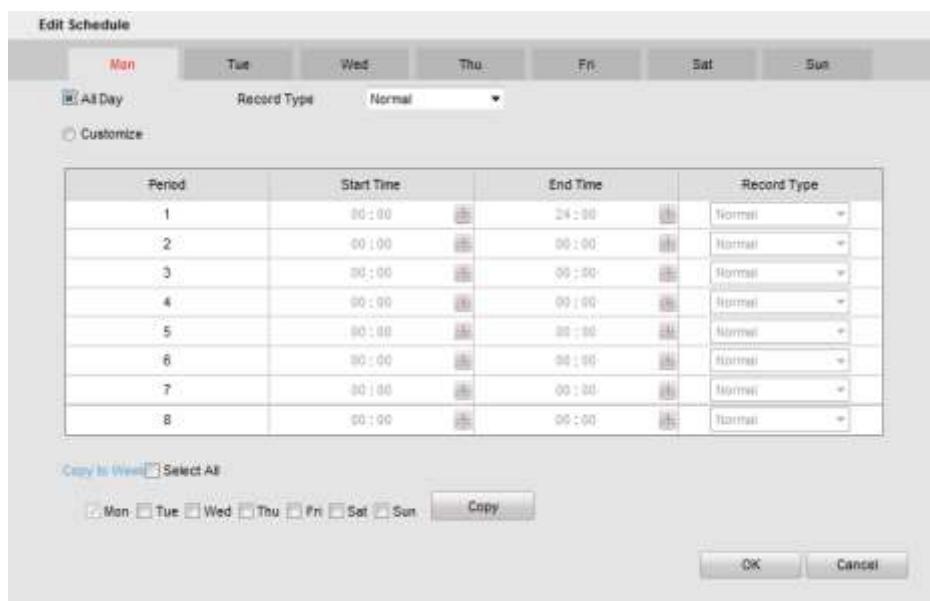


図 4.6 スケジュール編集

1) 終日または時間カスタマイズ録画の設定:

- 終日録画を設定したい場合は、**[終日]**チェックボックスをチェックします。
- 様々な時間帯で録画したい場合は、**[カスタマイズ]**チェックボックスをチェックします。各時間帯の**[開始時刻]**と**[終了時刻]**を設定してください。



各時間帯の時間は重複できません。最大 8 つの時間帯を設定できます。

- 2) **[録画種別]** を選択します。録画種別はノーマル、動体、アラーム、動体&アラームおよび動体 | アラームに設定できます。
- 3) **[すべて選択]**のチェックボックスをチェックして**[コピー]**をクリックし、その日の設定を週全体にコピーします。任意の日付の前のチェックボックスをチェックして**[コピー]**をクリックすることもできます。
- 4) **[OK]**をクリックして設定を保存し、**スケジュール編集**インターフェイスを閉じます。
6. スケジュール設定インターフェイスで**[詳細]**をクリックし、詳細録画パラメータを設定してください。
7. **[保存]**をクリックして上の設定を確定します。

4.4 再生

目的:

録画されたビデオファイルは Web ブラウザを経由してリモートで再生することができます。

手順:

1. メニューバーの**[再生]**をクリックして再生インターフェイスに進みます。



図 4.7 再生インターフェイス

2. デバイスリストから再生したいカメラをクリックします。
3. カレンダーから日付を選択して[検索]をクリックします。

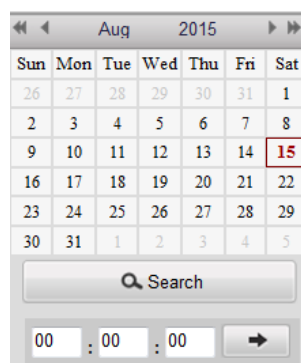


図 4.8 カレンダー


4.  ボタンをクリックすると現在の日付に対して見つかったビデオファイルを再生します。



図 4.9 再生インターフェイス


5. ツールバーのボタンで再生モードでの操作します。



図 4.10 ツールバー

表 4.2 ボタン説明

ボタン	操作	ボタン	操作
	ウィンドウ分割モード選択		逆再生
	再生/一時停止		再生停止
	スロー再生		早送り
	フレームごとの再生		全チャンネルの再生停止
	再生モードで画像キャプチャ		ビデオファイルのダウンロード
	ビデオファイルのクリッピングの開始/停止		音声 ON/OFF
	全画面ライブビューモード切り替え。		

6. プログレスバーをマウスでドラッグして、再生ポイントを正確に指定することができます。あるいは時刻を入力して  ボタンをクリックすると再生ポイントが指定されます。

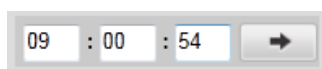


図 4.11 再生ポイント

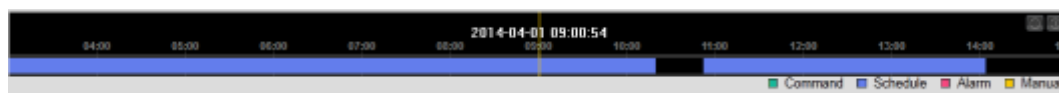


図 4.12 プログレスバー

プログレスバーのビデオの色は、それぞれのビデオタイプを示します。

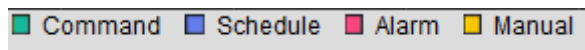


図 4.13 カラーバー

4.5 ログ

目的:

デバイスの操作、アラーム、異常および情報はログファイルに保存でき、いつでも確認したりエクスポートしたりできます。

始める前に

ログ機能はエンコーダーがHDD(DS-6700HQHI-SATAの場合のみ)またはネットワークディスクに接続されている場合にのみ実行できます。初めて使用する際には、HDDまたはネットワークディスクが初期化されていることを確認してください。

手順:

1. メニューバーの[ログ]をクリックしてログインターフェイスに進みます。
2. 大まかな種別、細かな種別、開始時刻と終了時刻など、検索事項を詳しく指定して、ログ検索条件を絞り込みます。
3. [検索]ボタンをクリックしてログファイルの検索を開始します。
4. 一致したログファイルが下のリストに表示されます。



一回ごとに100個までのログファイルが表示できます。

	Time	Major Type	Minor Type	Channel No.	Local/Remote User	Remote Host IP
1	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A1		0.0.0.0
2	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A1		0.0.0.0
3	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A2		0.0.0.0
4	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A2		0.0.0.0
5	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A3		0.0.0.0
6	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A3		0.0.0.0
7	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A4		0.0.0.0
8	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A4		0.0.0.0
9	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A5		0.0.0.0
10	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A5		0.0.0.0
11	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A6		0.0.0.0
12	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A6		0.0.0.0
13	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A7		0.0.0.0
14	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A7		0.0.0.0
15	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A8		0.0.0.0
16	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A8		0.0.0.0
17	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A9		0.0.0.0
18	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A9		0.0.0.0
19	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A10		0.0.0.0
20	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A10		0.0.0.0
21	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A11		0.0.0.0
22	2012-11-22 00:00:00	Information	Start Recording	A11		0.0.0.0
23	2012-11-22 00:00:00	Information	Stop Recording	A12		0.0.0.0

図 4.14 ログインターフェイス

5. ボタンをクリックして検索したログファイルをローカルディレクトリに保存することができます。

